

生徒のみなさんへ

校長 左近 晴久

本日から学校を再開する予定でしたが、県からの指示により、今月末まで休校期間を延長することになりました。休校に入る前に学習課題を配布していますが、新たな課題を明日以降、家庭訪問も兼ねて各家庭を回り配布します。引き続き学習に取り組むと共に、学習習慣の維持に努めてください。また、夜更かしや朝寝坊の癖がついていませんか。学校へ通っていた時と同じ生活リズムを保ち、規則正しい生活習慣の維持にも努めてください。これは自己の健康管理にも繋がります。

幸いにも今のところ、新宮・東牟婁地域で患者発生の報告はありません。しかしこれからも感染予防に努め、生徒諸君らはもちろんのこと我々教職員も、感染者とならないように注意する必要があります。そして、「自分はどううつらない」ではなく「自分はどうつかない」という意識を持ち、新型コロナウイルスに対して正しく恐れた言動をとるようにして下さい。

回りは自粛ムード一色で、このゴールデンウィークに串本を訪れた観光客も、例年と比べて大きく減少しました。いつもなら大渋滞の国道も空いていましたし、多くの店舗も休業、道の駅や駐車場も閉鎖となりました。これらが地域経済に与えた影響は大きく、これが日本、いや世界全体で見れば、経済的な損失は計り知れないものになるでしょう。

一方で、これからの先取りする新たな動きもあります。各地でICTを活用した遠隔授業が始まっています。本校でもまだ実験段階ですが、一部の選択科目でzoomを使った授業を始めました。今後はICT環境が整備され、wifiとタブレットで全世界と繋がった授業が当たり前のもことになるでしょう。県立学校では在宅勤務が始まりました。ワークライフバランスの観点から、これも一気に広まるかもしれません。

コロナウイルス後は、今までの当たり前が大きく変わった、新しい社会となる可能性があります。回りを見てみると負の側面が大きく、どうしても悲観的になりがちですが、一方でこのような未来への明るい希望も、持ち続けていきましょう。

あとしばらく休校が続きますが、健康にはくれぐれも留意してください。

2020/5/7